



猫におけるハウスダストアレルギー に関する研究報告



はじめに — 研究の目的と背景

猫のハウスダストマイト(室内塵ダニ)アレルギーは近年ますます一般的になっており、皮膚の刺激、掻く行動、舐める行動などの不快な症状を引き起こします。これらの症状は、動物の快適さや生活の質(QOL)に大きな影響を及ぼします。

ダニアレルギーはアトピー性皮膚炎の一種であり、遺伝的に規定された体質的なアレルギー素因(遺伝的素因)に基づきます。その結果、免疫系はダニなどのさまざまな環境アレルゲンに対して過敏となります。

アトピー性皮膚炎は、しばしば「環境アレルギー」とも呼ばれます。

ヨーロッパの研究によると、環境アレルギーを持つ猫のおよそ50%がダニに対して感受性を示します。





この一般的なアレルギー疾患を踏まえ、2024年には、猫におけるダニアレルギー症状の軽減に対する超音波ダニ忌避装置「Tickless Home」の有用性を評価することを目的として、10週間の臨床試験を実施しました。

本調査は、ハンガリー獣医皮膚科学会理事のアナ・パウリナ博士の指導のもとで実施され、研究の専門的信頼性および妥当性が担保されています。

本調査には、アトピー性皮膚炎とハウスダストおよび貯蔵ダニアレルギーと診断された14頭の猫が参加しました。

本調査の目的は、本機器がアレルギー性皮膚症状の緩和に補完的治療として使用できるかどうかを確認し、かゆみ、ひっかき行動、足舐め、皮膚炎、さらに外耳道炎の再発が短期的および長期的にどの程度軽減されるかを評価することでした。

測定方法

猫の飼い主は、**VAScatスケール(猫用視覚的アナログスケール)**を使用して掻き行動および舐め行動の重症度を評価しました。獣医師は、**SCORFADスケール(猫アレルギー性皮膚炎重症度評価スコア)**を用いてアトピー性皮膚炎の症状の重症度を評価しました。

測定は、0日目(開始時)、4週目、および10週目に実施されました。

VAScatスケール:

飼い主の観察に基づいて猫の掻き行動および舐め行動の強度と頻度を測定するための検証済みのツール

SCORFADスケール:

あらかじめ定義された臨床基準に基づいて皮膚症状(発赤、病変、脱毛など)を評価するための標準化されたスコアリングシステム



結果

VAScatスケール(掻きむしりおよびなめ行動の症状)に基づく飼い主による評価:

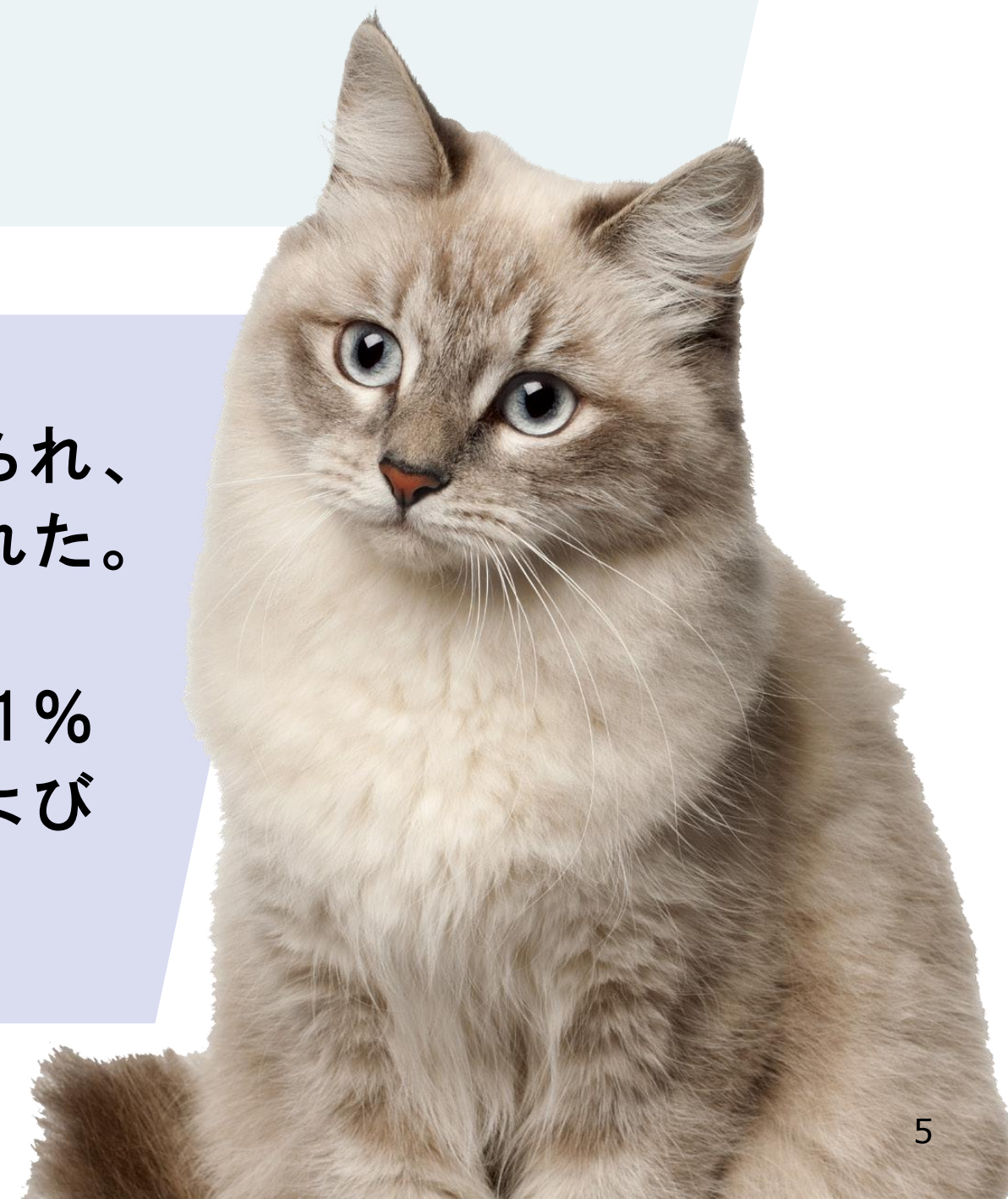
■ 10歳未満の猫の89%で、掻きむしりおよびなめ行動の減少が見られた。

獣医師によって評価されたSCORFADスケール(アトピー性皮膚炎の重症度)に基づいた結果:

4週目および10週目に
有意な改善が認められました

■ 参加した猫において、92%に改善が見られ、皮膚の炎症および皮膚症状の軽減が示された。

■ 79%の猫で少なくとも10%の改善が、71%の猫で少なくとも20%の改善が、4週目および10週目に確認された。





その他の観察結果

VAScatおよびSCORFADスコアにおける改善は、SCORFADでは統計的に有意でしたが、VAScatではそれほど顕著な変化は認められませんでした。

これは、本製品が臨床的には測定可能な有益な効果をもたらす一方で、その効果が飼い主には認識されにくい可能性を示唆しています。

SCORFADスコアの改善レベルと、猫の年齢、症状の持続期間、または薬の服用有無などの要因との間には、有意な相関は認められませんでした。

本製品の効果は、これらいずれの要因にも影響されなかったことから、背景因子に左右されにくいことが示唆されました。

結論

Tickless Home は、獣医主導の臨床試験において、アレルギーを持つ猫、特に若齢の猫の皮膚症状に有意な改善を示しました。

この結果は、本装置がハウスダストマイトアレルギーに苦しむ猫にとって、効果的な補助的ソリューションとなり得ることを示しています。

